

医療ソーシャルワーカー専門講座および現任教育講師養成講座内規

第1条（医療ソーシャルワーカー専門講座）

1、名称および目的

医療ソーシャルワーカー専門講座（以下 専門講座）とは、当協会の資質向上を目的とし、「全国どこでも、同じ内容を、同じ方法で学ぶことのできる研修システム」として当協会が構築した講座を言う。

2、受講資格

会員資格（正会員）を有し、経験3年以上の現任の医療ソーシャルワーカーとする。

3、修了認定

修了認定者は、修了認定証が授与され、修了認定証番号が登録管理される。

第2条（現任教育講師養成講座および現任教育講師）

1、名称および目的

現任教育講師養成講座（以下 講師養成講座）とは、専門講座および講師養成講座の講師を養成することを目的とした講座を言う。

2、受講資格

会員資格を有し、当協会の会員歴および医療ソーシャルワーカー実務経験が10年以上の現任の医療ソーシャルワーカーで、専門講座の講師を希望する者。

3、認定

全課程の修了者は、理事会承認後、認定証が授与され、認定証番号が登録管理される。

4、現任教育講師

前項において認定証が授与された者を現任教育講師と言う。

第3条（現任教育講師会および現任教育講師会運営委員会）

1、現任教育講師会は、会員である現任教育講師で組織する。

2、現任教育講師会運営委員会は、理事会が選任した現任教育講師で組織する。

3、現任教育講師会運営委員会運営委員長は、現任教育講師会運営委員の互選とする。

4、現任教育講師会運営委員の任期は2年（補欠の場合は前任者の残任期間）とし、再任は妨げない。

5、現任教育講師会運営委員会は、専門講座および講師養成講座の講師の選任、現任教育講師の質の確保および現任教育講師会の運営に関する事項を検討し、理事会に提案する。

第4条（プログラムおよび評価）

プログラムおよび評価は、おおむね次の通りとし、知識のみでなく実地での講義までも含めて現任教育講師が行う。

1、専門講座は、当協会編集の「保健医療ソーシャルワーク原論」を使用し、集中コース（3泊4日）または分割コースにての研修中にレポート試験、筆記試験、面接試験の評価を行い、総合的に修了認定する。

2、講師養成講座は、次の3つの過程を経るものとする。

パート1：専門講座の修了認定

パート2：3日間の研修を受講しパート2を修了した者を仮現任教育講師と言う。

パート3：専門講座で仮現任教育講師として現任教育講師と共に教える

パート3を修了した者は、理事会に現任教育講師として提案される。

付 則

第1条（修了認定証、認定証および委嘱状の文面）

1、専門講座の修了認定証の文面は、以下の通りとする。

第 号
修 了 認 定 証
_____ 殿
あなたは当協会の認定する「医療ソーシャル ワーカー専門講座」の課程を修了し修了検 定に合格されましたのでここに証します。
年 月 日
社団法人 日本医療社会事業協会会長

（注）

修了認定証番号を記入

氏名を記入

修了認定日を西暦で記入

公印を押印

認定日当日の会長名を記入

用紙は日本工業規格 A 列 4 版の賞状用紙を使用し、縦置き横書きで、字体は毛筆体が望ましい。

2、現任教育講師の認定証の文面は、以下の通りとする。

第 号
認 定 証
_____ 殿
あなたは、当協会の現任教育講師養成講座 の課程を修了されました。ここに「現任教育 講師」として認定致します。
年 月 日
社団法人 日本医療社会事業協会会長

（注）

認定証番号を記入

氏名を記入

認定日（理事会承認日）を西暦で記入

公印を押印

認定日当日の会長名を記入

用紙は日本工業規格 A 列 4 版の賞状用紙を使用し、縦置き横書きで、字体は毛筆体が望ましい。

3、現任教育講師会運営委員の委嘱状の文面は、おおむね以下の通りとする。

<p>委 嘱 状</p> <p>_____ 殿</p> <p>あなたを現任教育講師会運営委員として委嘱いたします。委嘱期間は**年6月1日から**年6月31日までとします。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>社団法人 日本医療社会事業協会会長</p>
--

(注)

氏名を記入

西暦で記入

西暦で記入

公印を押印

会長名を記入

用紙は日本工業規格A列4版の普通紙を使用し、縦置き横書きで、字体は明朝体が望ましい。

4、現任教育講師運営委員の施設長宛の委嘱依頼状の文面は、おおむね以下の通りとする。

<p>日医社協発第 _____ 号</p> <p>_____(平成*)年*月*日</p> <p>施設長 殿</p> <p>(社)日本医療社会事業協会会長</p> <p>現任教育講師会運営委員の委嘱について(依頼)</p> <p>時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より医療社会事業の推進につきまして、ご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。</p> <p>さて、当協会では会員の資質向上を図るため、各種教育事業を行っており、その一環として現任教育講師会とその運営委員会を設置しております。</p> <p>つきましては、業務ご多忙の折り恐縮に存じますが、貴所属の _____ 氏を標記運営委員に委嘱したいと存じますので格別のご配慮をお願い申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>委嘱期間：** (平成*)年6月 1日から ** (平成*)年5月31日まで</p>

(注)

公文書番号を記入

西暦(括弧内は和暦)で記入

氏名を記入

西暦(括弧内は和暦)で記入

用紙は日本工業規格A列4版の普通紙を使用し、縦置き横書きで、字体は明朝体が望ましい。

第2条 (講師養成講座の受講料等)

- 1、パート1は専門講座受講生と同額。
- 2、パート2の宿泊研修は、受講料および宿泊費・食費等実費を本人が負担する。
- 3、仮現任教育講師の場合、講師料は支給されないが、交通費の実費および宿泊食事等の現物を当協会が負担する。

[この内規は、1999（平成11）年3月7日の第8回理事会で承認された。]

[この内規は、2003年2月15日の第5回理事会で変更承認された。]